

される。3段階、5段階が考えられるが、その例をあげておく。

評定尺度の例（5段階の場合）

5… 「非常によい」, 「満足」, 「非常に望ましい」の状態
4… 「ややよい」, 「ほぼ満足」, 「やや望ましい」の状態
3… 「普通」, 「どちらともいえない」の状態
2… 「やや悪い」, 「不満足」, 「あまり望ましくない」の状態
1… 「きわめて悪い」, 「望ましくない」, 「きわめて不満足」の状態

エ 自由記述の記入について

各評価対象の小項目ごとに「自由記述」の欄を設けているので、小項目における評価対象に関する問題点・改善点などを簡潔に記入するようにし、個人の具体的な考えがあらわれるようにしたい。

④ 評価結果の集計・処理

評価結果の集計・処理の手順、方法については次のとおりである。

ア 評価結果の集計・処理は - C表 - 「教育課程評価集計票（年度末用）」によって行う。

○ 評価要素ごとに各段階別の人数を集計し、下の表のように評定分布欄に記入する。

評価対象	P D S	評価要素	評定分布					評定
			1	2	3	4	5	
教育目標・教育課程	P	教育目標の認識	0	1	4	3	2	3.6
		教育目標設定手順・方法	1	2	5	1	1	

○ 評価要素ごとの平均点を算出する。

※ 平均点算出例

(教員数10人で評価を行った場合)

$$N = 10$$

評定結果	評定尺度	1	2	3	4	5
	人数	0	1	4	3	2

評価要素「教育目標の認識」の評定は次のようにして求める。

$$\frac{5 \times (2)人 + 4 \times (3)人 + 3 \times (4)人 + 2 \times (1)人 + 1 \times (0)人}{10}$$

$$= \frac{36}{10} = 3.6$$

○ 各評価要素ごとの評定より評価対象の平均点を算出する。

※ 平均点算出の例(評価対象の小項目)教育目標の設定を例として表7を参照されたい。

表7

評価対象	P D S	評価要素	評定分布					評定	プロフィール		
			1	2	3	4	5		2.7	3.2	3.7
教育目標・教育課程	P	教育目標の認識	2	3	4	1	0	3.6			
		教育目標設定手順・方法						3.0			
	D	教育目標設定への参加						3.3			
		教育目標の重点化・具体化						3.4			
	S	教育目標評価計画の有無						3.5			
		教育目標設定・計画の改善						3.4	3.4		

「教育目標の認識」から「教育目標設定計画の改善」までの六つの評価要素ごとの評定の合計÷6とする。

$$\frac{3.6 + 3.0 + 3.3 + 3.4 + 3.5 + 3.4}{6} = 3.4$$

教育目標設定の平均点は3.4となる。

○ プロフィール作成に当たってはまず、全評価対象の平均点を算出する。

※ 評価対象は「教育目標の認識」から「教育課程評価」までの17の小項目からなっている。

※ 平均点算出の例

評価対象別の平均点の合計÷17